

## 山形・仙台圏交流研究会とは～山形大学人文学部との連携～

- この研究会は、山形・仙台圏の交流・連携の推進について調査研究するため、平成17年度、山形大学人文学部地域連携室と村山総合支庁が共同で立ち上げたものです。
- 20年度は、人文学部の15名の先生の協力と管内市町の参加を得て、「村山地域市町の観光資源と観光政策の研究」をテーマに月1回程度のペースで開催しています。

テーマ① 外国人観光客誘致についての調査研究

テーマ② 村山地域の観光資源及び観光政策の実態調査

- ご協力いただいている先生は次の方々です。

貝山道博教授（財政学）・・・研究会会長

北川忠明教授（政治理論）

鈴木 均教授（欧米経済論）

立松 潔教授（日本経済論）

安田 均教授（経済原論）

洪 慈乙教授（会計学）

是川晴彦教授（ミクロ経済学）

砂田洋志准教授（統計学）

山田浩久准教授（経済地理学）

下平裕之准教授（経済学史）

松本邦彦准教授（政治学）

鈴木明宏准教授（ゲーム理論）

西平直史准教授（制御理論）

山口昌樹准教授（国際金融論）

野田英雄准教授（マクロ経済学）

～19年度までの取組み状況～

【17年度】 5回開催

◇17年9月、本研究会を立ち上げ

◇仙台圏からの誘客拡大を目的としたマーケティング・リサーチの「予備調査」を実施

◇管内市町職員等を対象とした「地域研修」における発表＜山口先生＞

◇マーケティング・リサーチに関する3回の講義＜山口先生＞

◇産業連関表を活用した地域経済分析の可能性についての検討＜鈴木先生＞

【18年度】 12回開催

- ◇Webも活用した「本調査」を実施
- ◇「仙山交流シンポジウム」における発表<西平先生>
- ◇アンケート調査の企画・設計、観光マーケティングに関する3回の講義<西平先生>
- ◇宮城学院女子大学の学生を対象としたアンケート結果の発表<村山総合支庁>

【19年度】 11回開催

- ◇「観光情報の発信に関する効果分析」をテーマとして開催
- ◇仙台市民を対象としたアンケート調査を実施
- ◇「仙山交流セミナー」における研究発表<安田先生>
- ◇「情報発信」をテーマにした勉強会（外部講師による講演）を4回開催
- ◇宮城学院女子大学の学生を対象としたアンケート結果の発表<村山総合支庁>

《参考》

山形大学人文学部のホームページにも当研究会の活動記録が掲載されておりますので  
ご覧ください。

[http://www-h.yamagata-u.ac.jp/shakai/sh\\_news.htm](http://www-h.yamagata-u.ac.jp/shakai/sh_news.htm)